



めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校便り
令和4年 4・5月号
ヨハネスブルグ日本人学校

希望を胸いっぱい、元気に登校中!!

秋の到来を感じさせる中、いよいよ令和4年度の教育活動が始まりました。JSJ 保護者の皆様、関係者の皆様、日頃より本校の学校運営に多大なご協力ご支援を頂き心よりお礼を申し上げます。

本年度も、新型コロナウイルス感染症の蔓延については未だに予断を許さない状況ですが、4月12日に始業式、入学式を体育館で行い、令和4年度を通常の教育活動の実施により始めることができました。保護者の皆様、改めまして、お子様のご入学・ご進級、誠にありがとうございます。

さて、入学式におきましては、小学部3名、中学部2名の新入生を迎え、在南ア日本国大使館公使 内川 昭彦様にオンラインでご祝辞を頂き、日本人会会長 生田 創様からは、ご参列頂き、心温まる祝辞を頂きました。ご多用の中、誠にありがとうございました。新入生も緊張した中にも、しっかりとした態度で臨み、在校生の歓迎の言葉や歌を受け、式終了後は笑顔いっぱいの5名でした。これから数年間JSJでの多くの学びと貴重な体験を通して、将来の強みとなるものを獲得しながら健やかに成長してくれることを心から願っております。



新年度早々に、2つの訓練を実施



ヨハネスブルグ日本人学校では、南アフリカの治安面での現状を踏まえ、新年度が始まるとすぐに、「バス乗車訓練」「第1回避難訓練(バスジャック想定)」を実施しています。

バス乗車時の安全に関する決まりやマナーを確認したり、バスジャックに遭遇した際の迅速かつ安全な避難行動の仕方を実体験したりすることを通して、自分の命を自分で守る避難行動の定着を図っています。特に、避難訓練においては、日本国大使館より根本貴司領事殿にお越しいただき、訓練

に対するご講評を頂き、子供たちが真剣に聞く様子が見られました。

今後も、教育活動に位置付けた様々な想定 of 避難訓練を実施しながら、子供たちが自分の安全を第一に考え、適切な避難行動ができるように指導しています。高学年の児童や中学生には、自分に余裕があるときに、他の人に対しての声掛けや役に立つ行動も意識できるように、「自助、共助、防災教育」の面でも指導を行っていきます。



御挨拶

令和4年度の派遣者は、校長 渡島 郁弘(わたしま いくひろ)、教諭 福田 正人(ふくた まさと)の2名です。福田教諭は、中学部1年(G7)の担任として、算数や数学など多くの教科を担っています。査証発給の遅延から、両名とも年度当初の入学式以降、それぞれの担当する教科指導や学級活動もオンラインによる方法で日本国内から取り組んでいる状況が続いています。

一日も早く赴任が叶い、子供たちとの関係づくりを始め、JSJの教育環境を維持し、貢献できるよう努めます。日々の子供たちの教育活動での活躍や頑張りを大いに褒め、前に進めていくことはもちろん、保護者の皆様及び日本人会の皆様との交流を通して、南アフリカでの生活に慣れ親しみ、さらに充実した学びを提供できるよう努力してまいります。

安全や安心の面で、日本と大きく異なることを常に意識し、「七色の国民(レインボー・ネイション)」の国で働く一員として、ご家庭や学校運営委員会の皆様のご支援及びご協力を頂戴しながら全力で頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

よろしく
おねがいします。